

入場の際は、マスクの着用、手指の消毒、検温をお願いします。また、上映前に、各回の参加者名簿へのご記入をお願いします。換気、消毒のため上映・シンポジウム終了後、会場内の入れ替えを行います。ご協力をお願いします。また、パーティーは実施しません。

前売り券予約方法

事前の入金は行いません。ハガキ又はメールによる事前予約とします。各上映回115枚限定で、入場料金は一般上映作品前売券1,000円、特別上映作品・特別試写作品1,800円（シンポジウム参加料含）です。入場者数に余裕がある場合は、一般上映作品当日券1,300円、特別上映作品・特別試写作品、当日券2,000円を販売します。

申込時に予約枚数に達した場合は、こちらからご連絡しますので、電話番号、メールアドレスは正確にご記入ください。また、全日券及びローソンチケットでの販売は行いません。

第46回

湯布院映画祭チケット予約ハガキ

月日	タイトル	枚数を記入してください	月日	タイトル	枚数を記入してください
8月26日	前夜祭野外上映 助太刀屋助六 ※無料	枚	8月26日	一般上映作品 絵の中のぼくの村	枚
8月27日	一般上映作品 青春の殺人者	枚	8月28日	一般上映作品 新・座頭市II「冬の海」 女優 原田ヒサ子	枚
	一般上映作品 大地の子守歌	枚		特別上映作品 サマーフィルムにのって	枚
	一般上映作品 ぼくたちの家族	枚		特別上映作品 お茶をつぐ ミスりんご	枚
8月29日	一般上映作品 愛を乞うひと	枚	特別試写作品 愛のまなざしを	枚	
	8月28日	一般上映作品 乱	枚	特別上映作品 かば	枚

※野外上映は先着限定80名
チケットは郵送いたしません。当日現金引き換えとなります。

住所 (〒 -)

フリガナ
氏名

電話

E-mail

正確にご記入ください。参加者全員分の記入をお願いします。ご希望の作品と人数をメールで送っていただいても結構です。
E-mail yufuin-c@po.d-b.ne.jp 〆切は8月16日(月)です

凜として — 原田美枝子特集

主演としての映画デビューは『恋は緑の風の中』であるが、それ以前に日活児童映画『ともだち』（1974年 澤田幸弘監督）で主人公の少年の姉役として映画の現場を経験する。長靴を履いた監督にややがっかりしたが幻滅したという訳ではなく、大人の世界がなんか面白そう、と映画の世界にのめり込んでゆく。高校2年生の時に撮影した『大地の子守歌』『青春の殺人者』の鮮烈な演技で10代でキネマ旬報主演女優賞など多数の女優賞を受賞。この時キネマ旬報に寄せたコメント、“誰を目標に、なんて考えない。映画はTVに比べるとはるかに仕事らしいんだけど、もっといろんな角度から充実しないとね…”は後の彼女の活躍を暗示しており、恐るべき十代だったことが分かる。その後も、深作欣二、鈴木則文、山本薩夫、工藤栄一など優れた監督の作品に出演し、女優として高い評価と人気を得るが、“いろんな角度から”を実践するようにプロデューサー・脚本・主演の『ミスター・ミセス・ミス・ロンリー』（1980年 神代辰巳監督）を製作する。さらに『乱』のオーディションで楓の方をつかみ取り、黒澤明の“機を逃さない”演出に俳優として多大な影響を受ける。さらに、今回上映する『絵の中のぼくの村』（1996年 東陽一監督）のスケッチ風でファンタジックな映画では、演技経験のない子供を相手に画面を引き締める母親役を演じ、二度目のキネマ旬報主演女優賞を受賞。また『愛を乞うひと』では、子供を虐待する母と成長してその母と対峙する娘を通して、女性の中に棲む二面性という言葉では表現しきれない卓越した演技で、主要映画賞の主演女優賞を受賞。さらに、『はつ恋』（2000年）『OUT』（2002年）『60歳のラブレター』（2009年）などに出演し、デビューから現在まで、日本を代表する素晴らしい表現者として活躍する。

役に乗り移り、憑依したかの如く、様々な人間の業を演じてきた彼女の演技論と一緒に作品を手掛けた監督や共演者たちと探りたい。

ゲスト予定者				7月12日現在
■ 原田美枝子 (俳優)	■ 長塚京三 (俳優)	■ 石井裕也 (監督)	■ 平山秀幸 (監督)	
■ 松本壮史 (監督)	■ 川本貴弘 (監督)	■ 山中アラタ (俳優)	■ 篠原哲雄 (俳優)	
■ 秋沢健太郎 (俳優)	■ 万田邦敏 (監督)	■ 渡辺武信 (映画評論家)	■ 野村正昭 (映画評論家)	
■ 寺脇研 (映画運動家)				他総勢20数名

最新情報は公式HP (www.oct-net.ne.jp/yufuin-c/) にて

タイムテーブル

	8月26日(木)	8月27日(金)	8月28日(土)	8月29日(日)
9				
10		10:00 青春の殺人者 12:12	10:00 乱 12:42	10:00 特別上映作品 お茶をつぐ ミスりんご 11:11
11				11:30 シンポジウム (ホール) 12:30
12		12:30 大地の子守歌 14:21	12:55 絵の中のぼくの村 14:47	13:00 特別試写作品 愛のまなざしを 14:42
13		14:40 ぼくたちの家族 16:37	15:00 新・座頭市II「冬の海」 女優 原田ヒサ子 16:11	15:00 シンポジウム (ホール) 16:15
14			16:25 シンポジウム (ホール) 17:30	
15		18:00 愛を乞うひと 20:15	18:30 特別上映作品 サマーフィルムに のって 20:07	17:30 特別上映作品 かば 19:45
16	20:00 野外上映 助太刀屋助六 21:28	20:30 シンポジウム (ホール) 21:45	20:30 シンポジウム (ホール) 21:45	20:00 シンポジウム (3階会議室) 21:45
17				
18				
19				
20				
21				
22				

※パーティーは実施しません。
※一般上映作品後のシンポジウムは終了後に参加料300円をお支払いください。

お問い合わせ

湯布院映画祭大分事務局
TEL&FAX 097-532-2426
(開催中は0977-84-4762)
E-mail yufuin-c@po.d-b.ne.jp



湯布院映画祭

第46回

前夜祭 2021.8/26(木)
《上映会場》由布院駅前特設会場

2021.8/27(金) - 29(日)
《上映会場》ゆふいんラックホール

主催/湯布院映画祭実行委員会
協賛/由布院温泉観光協会 由布院温泉旅館組合
由布院観光総合事務所
後援/由布市 由布市商工会 大分県興行生活衛生同業組合
大分合同新聞社 NHK大分放送局 OBS大分放送
TOSテレビ大分 エフエム大分 ゆふいんラヂオ局 JR九州
お問い合わせ/湯布院映画祭大分事務局
〒870-0022 大分市大手町2-2-5 第2信用信販ビル4F
TEL & FAX 097-532-2426
映画祭期間中の事務局/TEL 0977-84-4762
HP http://www.oct-net.ne.jp/yufuin-c/
Eメール yufuin-c@po.d-b.ne.jp
宿泊のお問い合わせ/由布市ツーリストインフォメーションセンター
TEL 0977-84-2446



第46回 湯布院映画祭

— 上映作品紹介 —

前夜祭 野外上映 8月26日（木）



助太刀屋助六 2002年 日活 88分
監督・脚本／岡本喜八 原作／生田大作
撮影／加藤雄大 美術／西岡善信 照明／中岡源権
音楽／山下洋輔 録音／横野一氏
出演／真田広之 鈴木京香 村田雄浩 仲代達矢
小林桂樹 岸部一徳 山本菜々 鶴見辰吾
風間トオル 岸田今日子 本田博太郎 竹中直人

岡本喜八監督がペンネームで書いた時代小説「助太刀屋」の映画化。母と死に別れて孤児になった助六は、ひょんなことから、仇討ちの手助けをする助太刀屋になる。故郷に帰ってきた助六は偶然仇の助太刀することになる。岡本喜八監督の遺作となる痛快時代活劇。

凧として―原田美枝子特集I 8月27日（金）



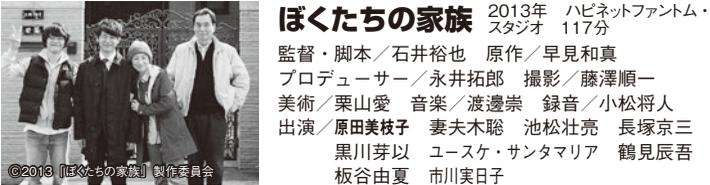
青春の殺人者 1976年 ATG 132分
監督／長谷川和彦 脚本／田村孟 原作／中上健次
企画／多賀祥介 撮影／鈴木達夫 美術／木村威夫
音楽／ゴダイゴ 録音／久保田幸雄 照明／伴野功
編集／山地早智子
出演／原田美枝子 水谷豊 内田良平 市原悦子
白川和子 江藤潤 桃井かおり 地井武男

1969年、千葉県市原市で実際に起こった事件を基に書かれた中上健次の小説『蛇淫』を原作に、両親を殺害した青年を通して若者の逃げ場のない焦燥感や怒りを描いた傑作。『大地の子守歌』と併せてキネマ旬報主演女優賞を受賞した原田美枝子の初期の代表作。



大地の子守歌 1976年 KADOKAWA 111分
監督／増村保造 脚本／白坂依志夫 原作／素九鬼子
撮影／中川芳久 美術／間野重雄 音楽／竹村次郎
録音／太田六敏 宮下光威 照明／福富精治
出演／原田美枝子 佐藤佑介 賀原夏子 灰地順
堀井永子 中川三穂子 千葉裕子 渡部真美子
梶芽衣子 岡田英次 田中絹代

りんは四国の山奥で、ばばと二人で野性の子として暮らしていたが、ばばの死後、13歳の時、瀬戸内海の島に売られた。島でりんを待っていたのは売春という地獄だった…。目を侵されお遍路となったりんの、苦しみに耐え抜き、神々しささ感じさせる原田美枝子の演技に魅せられる傑作。



ぼくたちの家族 2013年 ハビネットファントム・スタジオ 117分
監督・脚本／石井裕也 原作／早見和真
プロデューサー／永井拓郎 撮影／藤澤順一
美術／栗山愛 音楽／渡邊崇 録音／小松将人
出演／原田美枝子 妻夫木聡 池松壮亮 長塚京三
黒川芽以 ユースケ・サンタマリア 鶴見辰吾
板谷由夏 市川美日子

若菜家の母に脳腫瘍が見つかり、余命が宣告された。父や独立した長男、大学生の次男は、改めて家族を見つめ直すことになる。多額の借金、父の会社の経営難などが次々と明らかになる中、病気のため本音を吐露しながらも無邪気に振る舞い、結果的に家族を救う母を原田美枝子が軽やかに演じた傑作。



愛をうとひと 1998年 東宝 135分
監督／平山秀幸 脚本／鄭義信 原作／下田治美 撮影／柴崎幸三
美術／中澤克巳 許書毓 音楽／千住明 録音／宮本久幸
音響効果／斉藤昌二 照明／上田なりゆき 編集／川島章正
出演／原田美枝子 野波麻帆 中井貴一 小井沼愛
牛島ゆうき 浅川ちひろ 國村隼 うじきつよし
小日向文世 熊谷真実

娘とふたり暮らしの山岡照恵は、詐欺で捕まった異父弟と30年ぶりに再会したが、照恵の脳裡に蘇ってきたのは、幼い頃の母親との関係だった。幼い頃に母から受けた折檻の記憶を通して母と娘の憎悪と絆を描いた傑作。娘と母を合わせ鏡として女の業を表現した原田美枝子が圧巻の演技を見せる。

凧として―原田美枝子特集II 8月28日（土）



乱 1985年 KADOKAWA 162分
監督／黒澤明 脚本／黒澤明 小国英雄 井手雅人
撮影／斎藤孝雄 上田正治 撮影協力／中井朝一
美術／村木与四郎 村木忍 音楽／武満徹
出演／仲代達矢 寺尾聰 根津甚八 隆大介
原田美枝子 油井昌由樹 加藤和夫
ピーター 植木等 田崎潤 宮崎美子

シェイクスピアの「リア王」と戦国武将の毛利元就の「三子教訓状」をベースに、親と子、兄弟たちの愛憎と悲劇を描いた傑作。男達の確執の物語であるが、陰で男たちの意地と野望を手玉に取り翻弄する、長男太郎の妻、楓の方の原田美枝子の演技が扇の要のように物語を束ねて見事である。



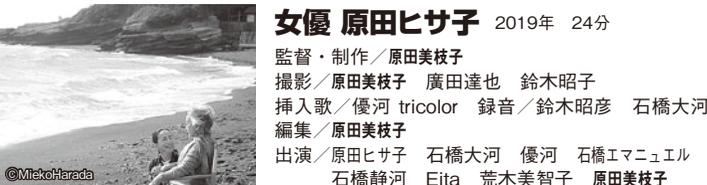
絵の中のぼくの村 1996年 シグロ 112分
監督／東陽一 脚本／東陽一 中島丈博
原作／田島征三 撮影／清水良雄 神影／佐野哲郎
美術／内藤昭 音楽／カテリーナ古楽合奏団
出演／原田美枝子 長塚京三 松山慶吾 松山翔吾
真々田瑞季 田宮賢太郎 山内美佳 小松方正
岩崎加根子 上田耕一 中島丈博

絵本作家・田島征三による同名の自伝的エッセイの映画化。昭和20年代の日本の田舎の村の生活を、双子の少年の目を通してファンタジックでスケッチ風に描いた傑作。オーディションで選ばれた実際の双子の兄弟と両親を演じる、原田美枝子、長塚京三の夫婦が絶妙のアンサンブルを見せる。



新・雪国II 冬の海 1978年 日本映画放送 47分
監督／勝新太郎 脚本／勝新太郎 中村努
原作／子母沢寛 音楽／青井八郎
出演／勝新太郎 原田美枝子 谷崎弘一 内田朝雄

余命幾何もない、てんという少女と出会い、彼女の海が見たいという願いを聞き入れ、海辺の産屋で奇妙な共同生活を始める市。聖母のような原田美枝子に魅せられた勝新太郎の演出が光る。



女優 原田ヒサ子 2019年 24分
監督・制作／原田美枝子
撮影／原田美枝子 廣田達也 鈴木昭子
挿入歌／優河 tricolor 録音／鈴木昭彦 石橋大河
編集／原田美枝子
出演／原田ヒサ子 石橋大河 優河 石橋エマニュエル
石橋静河 Eita 荒木美智子 原田美枝子

原田美枝子が90歳の母親を撮った短編ドキュメンタリー。昔女優だったと娘の人生を我が事のように語る、母・ヒサ子をならば女優にしようと、家族が動き出す。母への愛に溢れた短編。



サマーフィルムにのって 2020年 97分 カラー
ハビネットファントム・スタジオ
監督／松本壮史 脚本／三浦直之 松本壮史
撮影／岩永洋 山崎裕典 照明／谷本幸治
録音／久遠石由文 美術／飯森則裕 衣装／神田百実
出演／伊藤万理華 金子大地 河合優実 袴キララ
小日向星一 池田永吉 篠田諒 甲田まひる
ゆうたろう 篠原悠伸 板橋駿谷

勝新を敬愛する映画部の高校3年生、ハダシ。キラキラ恋愛映画ばかりの映画部では、撮りたい時代劇を作れずにいた。ある日、彼女の前に武士役にぴったりの凧太郎が現れ、「打倒ラブコメ」に燃えるハダシ。映画愛、友情、恋愛、SF、すべてを詰め込んだ青春映画の傑作。

特別上映 8月29日（日）



お茶をつぐ 2020年 アトリエレバード 36分
監督／篠原哲雄 脚本／蛭田直美
プロデューサー・メイク／憑啓孝
撮影監督／上野彰吾 録音・整音・効果／宋晋瑞
美術／寺尾淳
出演／秋沢健太郎 木村達成 美佐央 篠田三郎

店主が亡くなったお茶屋「ムツミ園」。耳の聞こえない息子雷太は、父との確執から店をつぐ気持ちにはなれなかったが、そこへ天才茶師と名乗る貞二が「この店は、俺が継ぐから」と現れ、雷太に24時間以内のお茶バトルを挑む。お茶を通して本当に継ぐものは何かを描いたヒューマンドラマ。



ミスりんご 2020年 36分 カラー
監督・脚本／岡部哲也 撮影／上野彰吾
録音・整音／加藤大和 メイク／馮啓孝 丹野遥
プロデューサー／馮啓孝
出演／秋沢健太郎 反橋宗一郎 加村真美
小坂涼太郎 朝香賢徹 大谷亮介

詐欺集団で仲間の金を持ち逃げしたと勘違いされた、運び屋の健二と雄介が逃げ込んだのは、何とミスりんごコンテスト会場。秋田県横手市を舞台に、笑いあり人情ありのユーモラスなタッチで描くロードムービー。



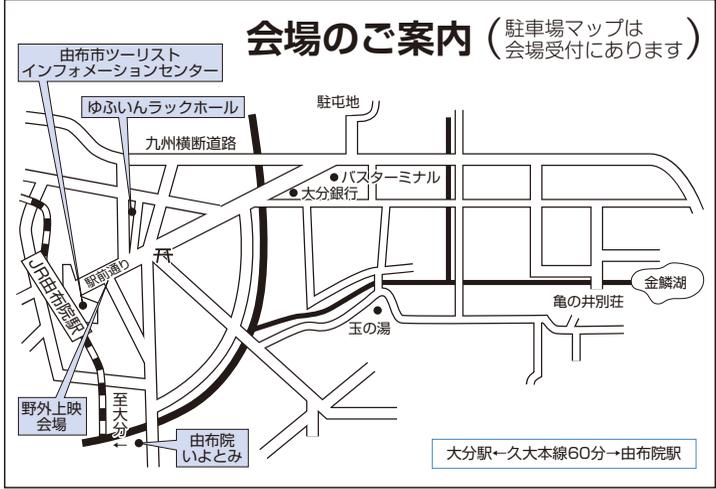
愛のまなざしを 2020年 102分 イオンエンターテイメント、朝日新聞社、和エンタテインメント カラー
監督／万田邦敏 脚本／万田珠実 万田邦敏
プロデューサー／杉野希妃 飯田雅裕
撮影／山田達也 照明／玉川直人 美術／北地那奈
出演／仲村トオル 杉野希妃 斎藤工 中村ゆり
藤原大祐 万田祐介 松林うらら ベンガル
森口瑠子 片桐はいり

患者により添い、評判の良い精神科医・貴志は6年前に妻を失い、そのショックから立ち直れず、薬で精神を安定させる日々を過ごしていた。そんな貴志の前に謎めいた患者・綾子が現れ、貴志への独占欲をふくらませていく。嫉妬と復讐と救済を描いた今秋公開の注目のスリリングなラブストーリー。



かば 2021年 映画「かば」制作委員会 135分 カラー
監督・脚本・原作／川本貴弘 美術／萩原英伸
装飾／萩原英伸 音楽／Lantan 主題歌／騒音寺
録音／長尾優 整音／長尾優 編集／田中健詞
出演／山中アラタ 折目真穂 近藤里奈 木村知貴
さくら若菜 高見こころ 石川雄也 牛丸亮
安永稔 八尾満 松山歩夢 中山千夏

1985年夏、被差別部落が隣接する大阪市西成区北部の荒んだ中学校。出自、偏見、子を顧みない親などさまざまな問題を抱えている生徒たちに本音でぶつかっていく蒲先生。「ただ教師と生徒の関係ではアカンねん。」という彼の信念をもとに、対等の立場で生徒と教師を描いた傑作。



大分市大手町2-2-5 第二信用信販ビル4F 湯布院映画祭 大分事務局 行

宿泊をご希望の方は下記にご記入ください。
なお、お申し込みは8月16日（月）必着でお願いします。
(宿泊のみの方のお申し込みはご遠慮ください)

		8月26日 （木）	8月27日 （金）	8月28日 （土）	8月29日 （日）
朝食付（相部屋） ―泊 6,500円（オール込）	男	人	人	人	人
	女	人	人	人	人
朝・夕食付（相部屋） ―泊 8,500円（オール込）	男	人	人	人	人
	女	人	人	人	人

個室をご希望の方は、由布市ツーリストインフォメーションセンター（0977-84-2446）に直接連絡してください。（なお、満室の場合はお断りすることもあります）

住所 〒		
(フリガナ) 氏名	性別	TEL
	年齢	FAX

※宿泊については、由布院観光総合事務所から直接連絡いたします。
(☎0977-85-4464)